

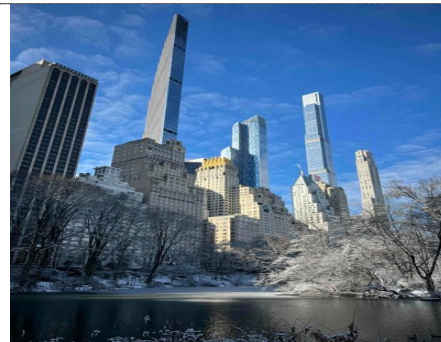
国際社会学部

富田晃正

Terumasa TOMITA

国際関係論コース

国際政治経済学、国際関係論



国際政治経済学とは

国際政治経済学は、国家間の協力や対立だけでなく、その背後にある国内政治や社会の動きも含めて、国際社会の意思決定や秩序の変化を理解しようとする学問分野です。戦争や外交といった伝統的なテーマに加えて、貿易、移民、サプライチェーン、経済安全保障など、国境を越える課題が国際政治の中心の争点となる今日、経済と政治の結びつきを視野に入れた分析が欠かせません。国際政治経済学は、異なる利害をもつアクターがどのようなルールや制度の下で交渉し、合意し、あるいは対立するのかを問うことで、一層複雑化する現代世界の変化を読み解きます。

研究紹介

子どもの頃から歴史小説が好きで、合戦そのものよりも、出自や利害の異なる人びとがどんな言葉や約束で手を結び、どこで決裂するのかといった政治的なせめぎ合いに惹かれてきました。学生生活でも、役割分担や話し合いの進め方、ルールの作り方によって集団の行動が変わる「小さな政治」を実感し、人と制度の関係に関心を持つようになりました。これが研究の原点になっています。

現在は国際政治経済学の観点から、米国の通商政策を中心に、グローバル化と国内政治の相互作用を研究しています。自由貿易が合理的とされる一方で、米国では輸入制限や関税引き上げなどの保護主義、さらには移民抑制が政治的に支持されています。私は、こうした現象がどのような政治過程を通じて生じるのかを、政府・議会・企業・労働組合など多様なアクターの利害と制度の動きに注目して分析しています。近年は、経済活動と安全保障の結びつきが強まるなかで、経済安全保障をめぐる政策形成にも関心を広げています。研究では、理論的説明可能性と現実の複雑さ・重要性との間の緊張関係を意識しながら、国際内外の変化を理解し説明することを目指しています。



担当授業

- 国際政治経済学入門
- 国際政治経済学概論
- 国際政治経済研究法
- アメリカ政治経済論
- 卒論演習

関連する分野

- 国際政治学
- 比較政治学
- アメリカ研究
- 国際法学
- 国際政治史

出版物

- 『いまアメリカの通商政策に何が起きているのか?』
- 『国際関係論入門』
- 『国際政治経済学入門』
- 『FTA・TPPの政治学』
- 『Non-Western Nations and the Liberal International Order』

国際社会学部

国際政治経済学ゼミ



どのようなゼミか

本ゼミは、国際政治経済学（International Political Economy: IPE）を専門とし、通商政策、移民政策、国際金融、グローバル化、経済安全保障、産業政策、援助政策などを対象に、国際経済と政治の相互作用を理論的・実証的に考える演習です。社会科学は一般化可能な知見の抽出を目指しますが、そのためには対象事象の歴史的・社会的・経済的・文化的文脈への理解が不可欠です。地域研究的な学びを土台に、社会科学の分析枠組み（概念・理論・比較の視座）を組み合わせ、国際問題を“記述”ではなく“分析”する力を養います。

米国大統領選挙（2020年）のキャンペーングッズ

卒論

3年次は欧米の最新教科書や英語論文を読み、国内政治と通商、国際制度、為替制度、金融危機、移民、多国籍企業、開発戦略、グローバル・バリューチェーン、経済安全保障など幅広いテーマを扱います。授業は講義ではなく文献報告とディスカッション中心で、Foreign Policy や Washington Post などのニュースも取り上げ、理論と現実の政策課題を結びつけて議論します。一定の読解量と準備が求められますが、国際問題を理論的に理解し、論理的に発表・討論し、卒業論文につながる分析力を身につけたい学生に適したゼミです。

*初年度のため該当事項がありません

4年次の卒業研究では、卒論を「長いレポート」ではなく「問いに答える分析的な論文」として仕上げることを目指します。研究テーマの確定、明確なリサーチ・クエスション設定、先行研究の体系的整理と限界把握、そして自分の研究の位置づけの提示を段階的に進めます。テーマや地域は国際関係論に関連する限り柔軟に設定でき、方法も事例研究・比較分析・歴史的分析・テキスト分析などから、関心とデータの入手可能性に応じて相談して決定します。自分の頭を使うことを厭わない学生を歓迎します。

おススメの本

- Polanyi, Karl. *The Great Transformation: The Political and Economic Origins of Our Time* (1944)
- Hirschman, Albert O. *Exit, Voice, and Loyalty: Responses to Decline in Firms, Organizations, and States* (1970)
- Piketty, Thomas. *Capital and Ideology* (2019)
- Rodrik, Dani. *The Globalization Paradox: Democracy and the Future of the World Economy* (2011)
- 沢木耕太郎『一瞬の夏』（1981）



国境を越える人の移動：米墨国境（サンディエゴ＝ティファナ）